

27年度に平泉町を訪れた国別外国人旅行者数(上位5カ国)

平泉町を訪れる外国人旅行者数などの状況
 平成23年3月に発生した東日本大震災が東北地方に甚大な被害をもたらしたことにより、平泉町の観光客入込数は減少してまいりましたが、同年6月に「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録されたことを契機に増加に転じ、翌年の24年には264万人の観光客が当町を訪れました。しかし観光客入込数は24年をピークにその後は減少しています。27年にはピーク時の73%となる193万人まで落ち込み、23年の

観光客入込数と同規模となっている状況です。しかしその一方で平泉町を訪れた外国人旅行者数は年々増加傾向にあります。東日本大震災の影響により一時的に外国人旅行者数は大幅に落ち込みましたが、平泉が世界遺産に登録されたことや放射線量などに関する風評被害がおさまってきたことにより、訪れる外国人旅行者も徐々に増えていきました。そして外国人旅行者数は4年連続で増加しており、27年には過去最高となる約2万1千人の外国人旅行者が平泉町を訪れました。

平泉町を訪れた外国人旅行者の5割は「台湾」
 27年度に平泉町を訪れた外国人は約2万1千人おり、国別で見ると台湾、タイ、中国、香港、アメリカの人たちがより多く平泉を訪れています。また平泉を訪れる外国人旅行者数の5割を台湾が占めています。これは台湾からいわて花巻空港への国際チャーター便があることが理由の一つであり、今後誘客PRを強化することで、当町を訪れる観光客がより増えることが期待されています。



平泉の魅力の世界に発信する
【特集】「インバウンド観光」の可能性

写真：平成27年2月 タイ旅行博(東北仙台ブース)

—インバウンド観光について—

TALK INTERVIEW



一般社団法人平泉観光協会
千葉 繁 事務局長

みんなで協力してインバウンド観光の対応をしていきたい

平泉駅から出てくる観光客を見ると、年々外国人旅行者が増えてきていると感じます。台湾だけでなく、最近は欧米からの旅行者もよく見かけます。

一般社団法人平泉観光協会では、平泉の歴史や文化を自国の言葉で理解できるように7カ国語に対応した「多言語音声ガイドペン」の貸し出しを今年の4月から始めました。また、外国人旅行者の増加に伴い、英語と中国語に対応できる職員をさらに増やしていきます。

観光案内所だけでなく、平泉駅や駅周辺の商店で外国人旅行者が言葉が通じなくて困っている場合などは手助けし、地域のみんで協力してインバウンド観光の対応ができればと思っています。

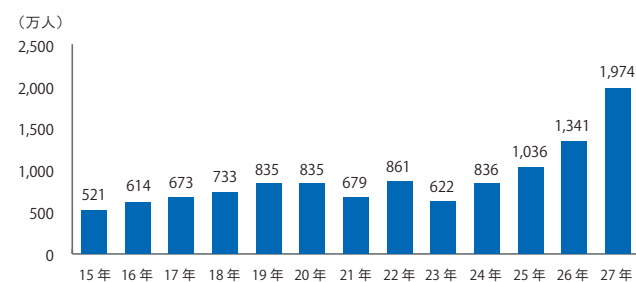


外国人旅行者に好評な音声ガイドペン

そもそもインバウンドって何のこと？

「インバウンド」とは、外から入ってくる旅行、つまり日本を訪れる外国人旅行を指し、反対に日本人の海外旅行を「アウトバウンド」と言います。

日本ではアウトバウンドに比べて、インバウンドの数が著しく少なかったため、平成15年に国土交通省が中心となって、観光立国を目指し、日本の観光情報、海外への広報活動や外国人観光客の受入整備などを進める「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を行い、訪日外国人旅行者の増加に努めてきました。その結果、訪日外国人旅行者数は、東日本大震災が発生した23年には減少しましたが、年々増加傾向にあります。そして27年の訪日外国人旅行者数は1974万人となり、3年連続でこれまで



訪日外国人旅行者数の推移

【出典：日本政府観光局(JNTO)】

の最高記録を更新しています。今後は人口減少による国内観光需要の減少が予想されるため、増加する外国人旅行者に焦点を当てたインバウンド観光の推進が重要とされています。

平成27年の年間流行語大賞「爆買い」に象徴されるように、近年、日本を訪れる外国人旅行者が急増しています。32年には東京オリンピックが開催されることもあり、今後ますます訪日外国人旅行者は増えていくことが見込まれています。そのため日本各地で外国人旅行者に焦点を当てたインバウンド(訪日外国人旅行)観光が注目されています。今月の特集は、当町で取り組んでいるインバウンド観光について紹介します。